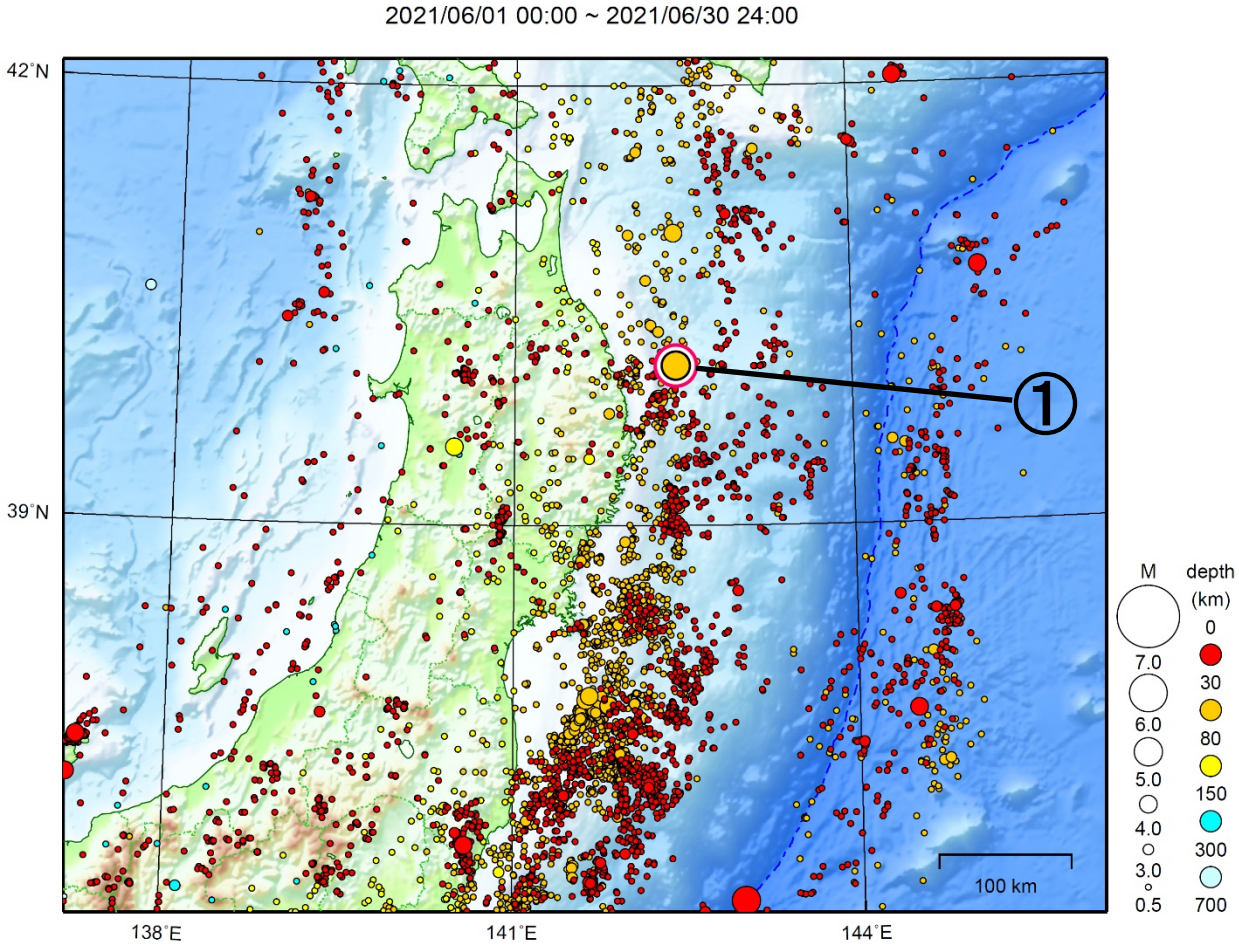
東北地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

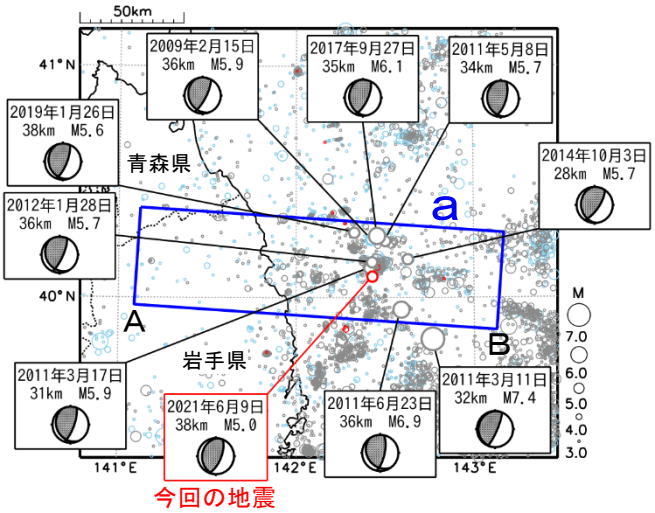
① ６月９日に岩手県沖で M5.0 の地震（最大震度３）が発生した。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

６月９日　岩手県沖の地震

震央分布図
（1997年10月１日～2021年６月30日、
深さ０～150km、M≧3.0）
2011年３月10日以前に発生した地震を水色、
2011年３月11日以降に発生した地震を灰色、
2021年６月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

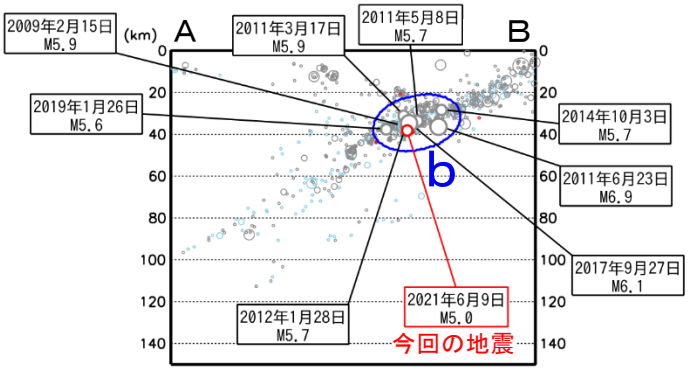


2021年６月９日22時05分に岩手県沖の深さ38kmでM5.0の地震（最大震度３）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

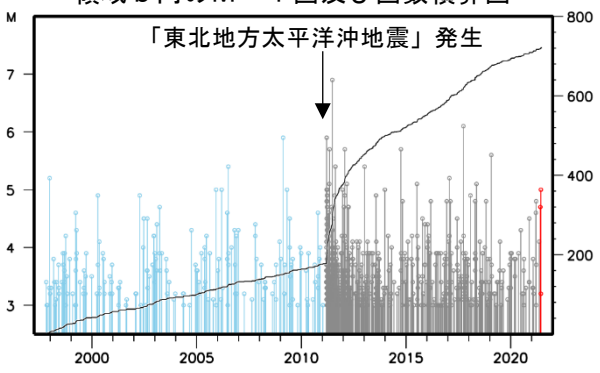
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、2011年６月23日に発生したM6.9の地震（最大震度５弱）では住家一部破損１棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。また、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震の発生数が増加している。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、1995年１月７日には「平成６年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震であるM7.2の地震（最大震度５）が発生した。

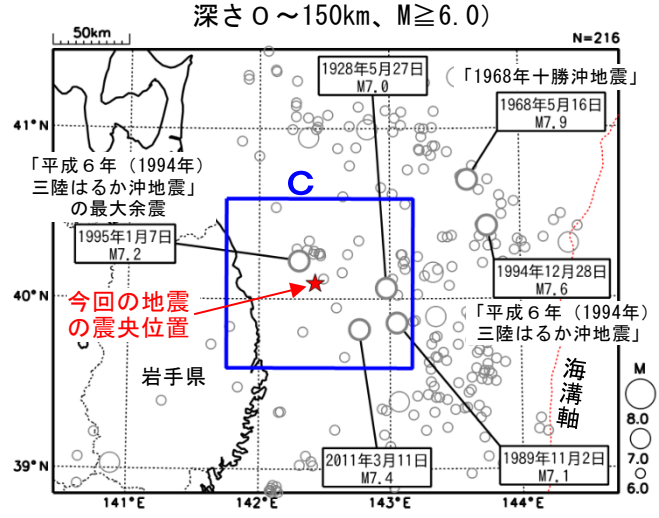
領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



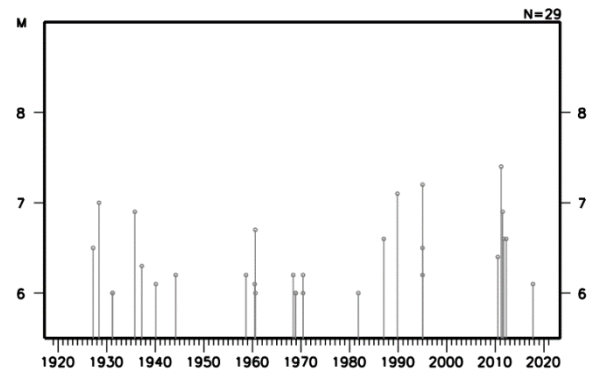
領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



震央分布図
（1919年１月１日～2021年６月30日、
深さ０～150km、M≧6.0）



領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成